

科目名	身体障害評価学実習Ⅱ			授業の種類	実習	講師名	
授業回数	23回	時間数	45時間 (1単位)	配当学年・時期	作業療法士科2年	必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕							
身体障害分野における作業療法評価の目的や技法を習得する。							
〔授業全体の内容の概要〕							
作業療法で用いられる表皿や検査測定手技を学ぶ。							
〔講師の実務経験〕							
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕							
①一般的な評価の流れを理解し説明が出来るようになる。							
②検査・測定に必要な知識を理解し、実施できるようになる。							
③評価結果を統合解釈できるようになる。							
回数	講義内容						
1	筋緊張・反射・BRS・協調性検査について①						
2	筋緊張・反射・BRS・協調性検査について②						
3	筋緊張・反射・BRS・協調性検査について③						
4	脳神経検査の実際①						
5	脳神経検査の実際②						
6	脳神経検査の実際③						
7	運動器疾患の評価（ロコモティブシンドローム）の実際①						
8	運動器疾患の評価（ロコモティブシンドローム）の実際②						
9	運動器疾患の評価（ロコモティブシンドローム）の実際③						
10	運動器疾患の評価（介護予防）の実際①						
11	運動器疾患の評価（介護予防）の実際②						
12	観察・記録①						
13	観察・記録②						
14	観察・記録③						
15	観察・記録④						
16	脳神経検査①						
17	脳神経検査②						
18	脳神経検査③						
19	脳神経検査④						
20	歩行分析①						
21	歩行分析②						
22	歩行分析③						
23	歩行分析④						
	定期筆記試験						
【 準備学習・時間外学習 】							
作業療法評価学で予習、実技の練習							
【 使用テキスト 】							
書籍名		著者名		出版社			
作業療法評価学		能登真一 他		医学書院			
ベッドサイドの神経の診かた		田崎義昭 他		南山堂			
【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】							
履修規定に準じ、試験の結果を100点満点として60点以上の場合に合格とする							